

ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース シラバス

開催方法 (○で囲む)	1 ライブ 2 オンデマンド
※配信日時 (ライブの場合)	
科目名	製剤実習1 医薬品の品質試験と評価 - 溶出試験による品質の評価 -
担当教員	富山県薬事総合研究開発センター 製剤開発支援センター センター長 小笠原 勝 氏 富山県薬事総合研究開発センター 試験課主任研究員 米田 哲也 氏
授業の内容	医薬品の品質を確認する代表的な試験の一つとして、溶出試験が挙げられる。溶出試験は、試験液に溶出した薬物の量を測定する試験であり、溶出速度は薬効や安全性に大きく影響することから、後発医薬品等の品質確認において重要となる試験である。 本 Web 実習では、実際に溶出試験を実施した際に撮影した画像及び動画を用いて解説するとともに、試験に影響する様々な要因を考察する。また、全自動化された最先端の溶出試験機などについても説明する。 ＜Web 実習内容＞ ・ アラセプリル錠の溶出試験の実施（画像及び動画を用いる） ・ 試験結果の解析及び評価 ・ 実習のまとめ及び考察
学生の到達目標	1. 溶出試験の目的について説明できる 2. 溶出試験器及び溶出試験の流れについて説明できる 3. 溶出試験の結果に影響を及ぼす要因について説明できる
キーワード	溶出試験、品質管理、生物学的非同等性、経口固形製剤、溶出曲線
その他、受講上の注意事項や学習上の助言など	特になし